

原告製品形態及び被告製品形態の詳細比較表（原告ら）

形態1

	原告製品	被告製品
項目①	<ul style="list-style-type: none"> ● 木製のいすである。 ● L字板2枚を有する。 <ul style="list-style-type: none"> - 長辺の長さ 86cm - 長辺部分の幅 6.6cm - 短辺の長さ 49.2cm - 短辺部分の幅 7.5cm - 厚さ 2.5cm - 長辺の上端は、地面と水平ではなく、長辺と垂直になるようにカットされている。 ● 座板1枚を有する。 <ul style="list-style-type: none"> - 幅 42.6cm - 最大奥行 25.1cm - ストラップを通すための穴が開けられている ● 足のせ板1枚を有する。 <ul style="list-style-type: none"> - 幅 42.6cm - 最大奥行 32.2cm ● 背板2枚を有する。 <ul style="list-style-type: none"> - 高さ 2.6cm - 厚さ 1.3cm ● 横木1枚を有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 木製のいすである。 ● L字板2枚を有する。 <ul style="list-style-type: none"> - 長辺の長さ 92cm - 長辺部分の幅 6.9cm - 短辺の長さ 59.5cm - 短辺部分の幅 6.9cm - 厚さ 2.3cm - 長辺の上端は、地面と水平ではなく、長辺と垂直になるようにカットされている。 ● 座板1枚を有する。 <ul style="list-style-type: none"> - 幅 42.5cm - 最大奥行 25.0cm - ストラップを通すための穴が開けられている ● 足のせ板1枚を有する。 <ul style="list-style-type: none"> - 幅 42.5cm - 最大奥行 30.0cm ● 背板2枚を有する。 <ul style="list-style-type: none"> - 高さ 5.8cm - 厚さ 1.7cm ● 横木1枚を有する。

	<ul style="list-style-type: none"> - 高さ 5.2cm - 奥行 2.4cm ● 金属の棒 2 本を有する。 - 直径 1.3cm - 金属の棒の色はいずれも黒色 	<ul style="list-style-type: none"> - 高さ 2.0cm - 奥行 4.8cm ● 金属の棒 2 本を有する。 - 直径 1.2cm - 金属の棒の色はいずれも黒色
項目②	<ul style="list-style-type: none"> ● L字板の 2 辺が形成する角度は 66 度である。 <ul style="list-style-type: none"> - 短辺の後端も、同様に、地面に 対して 66 度の角度となるよ うに斜めにカットされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● L字板の 2 边が形成する角度は 66 度である。 <ul style="list-style-type: none"> - 短辺の後端も、同様に、地面に 対して 66 度の角度となるよ うに斜めにカットされている。
項目③	<ul style="list-style-type: none"> ● 2 枚の L字板が地面と垂直に、かつ 2 枚が平行に並べられている。 <ul style="list-style-type: none"> - L字板の間の距離 40.6cm - L字板の厚さを含む幅 45.6cm ● 上部に 2 枚の曲線の背板が配置さ れている。 ● 中央部及び下部に金属の棒 2 本が 配置されている。 ● 下部やや後方に横木 1 枚が配置さ れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2 枚の L字板が地面と垂直に、かつ 2 枚が平行に並べられている <ul style="list-style-type: none"> - L字板の間の距離 41.0cm - L字板の厚さを含む幅（長辺 部）45.6cm ● 上部に 2 枚の曲線の背板が配置さ れている。 ● 中央部及び下部に金属の棒 2 本が 配置されている。 ● 下部後方に横木 1 枚が配置されて いる。
項目④	<ul style="list-style-type: none"> ● L字板には、座板および足のせ板が 挿入可能なように地面に平行に膨 られた多数の溝がある。 <ul style="list-style-type: none"> - 溝の数は 14 	<ul style="list-style-type: none"> ● L字板には、座板および足のせ板が 挿入可能なように地面に平行に膨 られた多数の溝がある。 <ul style="list-style-type: none"> - 溝の数は 13
項目⑤	<ul style="list-style-type: none"> ● 座板及び足のせ板が、前記の溝に着 	<ul style="list-style-type: none"> ● 座板及び足のせ板が、前記の溝に着

	<p>脱自由に挿入されることにより L字板の間に装着されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● この木製板の後方縁部分は波状に加工されている。 	<p>脱自由に挿入されることにより L字板の間に装着されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● この木製板の後方縁部分はやや丸みを帯びた曲線に加工されている。
--	--	--

形態 2

	原告製品	被告製品
項目⑥	<ul style="list-style-type: none"> ● 着脱可能な保護用のベビーガードとして、曲線の板 1 枚が、L 字板に挟みこまれるように地面と平行に取り付けられている。 ● 当該ベビーガードには中央部に革製ストラップが存在し、その上部はベビーガードに固定され、下部は座板に開けられた穴に通して固定される。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 着脱可能な保護用のガードとして、曲線の板 1 枚が、L 字板に挟みこまれるように地面と平行に取り付けられている。 ● 当該ガードには中央部に布製のベルトが存在し、その上部はガードに固定され、下部は座板に開けられた穴に通し、さらに下部の金属の棒に終端に設けられた輪を通すことにより固定される。

原告製品の販売数量、売上高及び宣伝広告費

期	平成 2 年度	平成 3 年度	平成 4 年度	平成 5 年度	平成 6 年度	平成 7 年度	平成 8 年度
売上高 (千円)	-	157,092	192,699	235,498	266,851	329,128	
販売数量 (脚)	2,613	9,810	11,644	14,324	18,547	19,687	24,599
宣伝広告費 (千円)	3,292	2,926	-	5,597	1,492	6,661	6,827

期	平成 9 年度	平成 10 年度	平成 11 年度	平成 12 年度	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度
売上高 (千円)	329,397	326,549	305,408	397,353	456,723	495,671	537,920
販売数量 (脚)	25,383	22,513	25,333	27,317	31,142	32,605	35,919
宣伝広告費 (千円)	9,341	5,732	16,813	16,191	28,051	19,190	16,696

期	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
売上高 (千円)	548,676	634,776	706,315	939,811	716,337	549,875
販売数量 (脚)	35,831	40,614	44,178	52,799	43,874	33,200
宣伝広告費 (千円)	18,458	16,354	15,963	12,579	15,227	-

注1：平成2年度の数値は、年度途中からものである。

注2：平成19年度以前の売上高には、ガードレール、ベビーセット及びクッショングの売上げが含まれている。

原告製品の日本に対する出荷数量

期	平成 11 年度	平成 12 年度	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
販売数量 (脚)	21,098	26,060	32,386	35,404	37,051	32,858	43,983

期	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
販売数量 (脚)	41,622	60,065	47,483	27,121

原告製品形態及び被告製品形態の詳細比較表（被告）

形態 1

	原告製品	被告製品
項目①	<ul style="list-style-type: none"> ● ビーチ材製 	<ul style="list-style-type: none"> ● 側板・脚板はラバーウッド（ゴム材）製 ● 座板・フットレストはベニヤ板製
	<ul style="list-style-type: none"> ● L字板 2枚を有する。 ● L字板は側面板と脚板とで構成されており、側面板と脚板は同一平面上に1枚の板として直接接続されている。【原告製品形態及び被告製品形態の詳細比較写真（以下「写真」という。）①-1 参照】 ● 側面板は平らである。【写真②-1 参照】 ● 側面からの外観上側面板と脚板の接続箇所は前方先端である。 ● 脚板の前方先端は鋭角となっている。 【写真③-1 参照】 ● 脚板底面には、ベージュ色をしたプラスチック製の部品が付属している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● L字板を有さない。 ● 側面板と脚板は1枚の板として直接接続されていない。折り畳み可能とするため、側板と脚板とは立体状に（側面板と脚板は同一平面上にない）ジョイント金具をもつて接続されている。【写真①-2 参照】 ● 側面板には立体状に突出した箇所があり、椅子として利用される場合は脚板の上に力点として作用する形状となっている。 【写真②-2 参照】 ● 側面から外観上、側面板と脚板の接続箇所は前方先端部より 9.5cm 後方部にある。 ● 脚板の前方先端部は丸みをもった形状となっている。 【写真③-2 参照】 ● 脚板底面には、黒色をしたフェルト製の滑り止めが付属している。

	<ul style="list-style-type: none"> (側面板にはロゴがなく、横木の後方側面に存在する。)【写真④-1参照】 	<ul style="list-style-type: none"> 左側に配置される側面板には「Aprica」のロゴが存在する。【写真④-2参照】
	<ul style="list-style-type: none"> 座板1枚を有する。 座板後方部分は波状に加工されている。【写真⑤-1参照】 ストラップを通すための穴が開けられており、その直径は3.5cmである。 	<ul style="list-style-type: none"> 座板1枚を有する。 座板後方部分は丸みをおびた形状に加工されている。【写真⑤-2参照】 ストラップを通すための穴が開けられており、その直径は5.5cmである。
	<ul style="list-style-type: none"> 足のせ板1枚を有する。 足のせ板後方部分は波状に加工されている。【写真⑥-1参照】 	<ul style="list-style-type: none"> 足のせ板1枚を有する。 足のせ板後方部分は丸みを帯びた形状に加工されている。【写真⑥-2参照】
	<ul style="list-style-type: none"> 背板2枚を有する。 背板2枚は側面板に接続しており、間に3.4cmの距離がある。 背板2枚の裏面左右端にある穴にネジ止め用金属を挿入し、側面版と接続させるが、その穴の形状は長方形状である。【写真⑦-1参照】 	<ul style="list-style-type: none"> 背板2枚を有する。 背板2枚は側面板に接続しており、間に9.1cmの距離がある。 背板2枚の裏面左右端にある穴にネジ止め用金属を挿入し、側面版と接続させるが、その穴は円形である。【写真⑦-2参照】
	<ul style="list-style-type: none"> 横木1枚を有する。 横木は、脚板の中央部分（脚板後方部分から24.8cmの位置）で、地面に対し垂直に接続している。【写真⑧-1参照】 横木の後方側面には、赤字で「STOKKE」と記載された上、黒字で注意書きが記載されたシールが貼付されている。【写真⑨-1参照】 	<ul style="list-style-type: none"> 横木1枚を有する。 横木は、脚板の後方部分（脚板後方部分から8.2cmの位置）で、地面に対し水平に接続している。【写真⑧-2参照】 (横木にはロゴがなく、側面板に存在する。)【写真⑨-2参照】

	<ul style="list-style-type: none"> ● 金属の棒 2 本を有する。 ● 金属の棒 2 本は、光沢が出ないような加工が施されている。 ● 金属の棒のうち 1 本は、側面板の下部に接続しており、前方先端部からは 5.5 cm、地面からは 8.2 cm の高さに位置する。 ● 金属の棒のうち 1 本は、側面板の中央部分に接続している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 金属の棒 2 本を有する。 ● 金属の棒 2 本は、光沢が出るよう加工が施されている。 ● 金属の棒のうち 1 本は、側面板の下部に接続しており、前方先端部からは 13.3 cm、地面からは 10.0 cm の高さに位置する。 ● 金属棒のうち 1 本は、側面板の中央部分に接続している。
項目②	<ul style="list-style-type: none"> ● L字板の 2 辺が形成する角度は 66 度である。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 側面板と脚板がジョイント金具をもって接続されている角度を真横から計測すると 65 度である。
項目③	<ul style="list-style-type: none"> ● 2 枚の L字板が地面に垂直に、かつ 2 枚が平行に並べられている。 ● L字板の上部 2.0 cm 部分と 12.3 cm 部分に 2 枚の曲線の背板（高さ 2.6 cm・厚さ 1.3 cm）が配置されている。 ● L字板の中央部及び下部（地面から高さ 8.2 cm）に金属の棒 2 本が配置されている。 ● L字板の下部中央部に横木 1 枚が地面に垂直に配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2 枚の側面板と脚板が地面に垂直に、かつ 平行に並べられている。 ● 側面板の上部 1.1 cm 部分と 17.9 cm 部分に 2 枚の曲線の背板（高さ 5.8 cm・厚さ 1.7 cm）が配置されている。 ● 側面板の中央部及び下部（地面から高さ 10.0 cm）に金属の棒 2 本が配置されている。 ● 脚板の後方部分に横木 1 枚が地面に水平に配置されている。
項目④	<ul style="list-style-type: none"> ● L字板には、座板および足のせ板が插入可能なように地面に平行に彫られた 14 の溝がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 側面板には、座板及び足のせ板が插入可能なように、地面に対し斜め（1 度傾斜）に彫られた 13 の溝がある。

項目⑤	<ul style="list-style-type: none"> ● 座板及び足のせ板が、前記の溝に着脱自由に挿入されていることにより、L字板の間に装着されている。 ● この木製板の後方縁部分は、波状に加工されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 座板及び足のせ板が、前記の溝に着脱自由に挿入されていることにより、側面板の間に装着されている。 ● この木製板の後方縁部分は、丸みを帯びた形状に加工されている。
項目⑥	<p>なし 【写真⑩－1 参照】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● テーブル(前方部分は丸みを帯びた形状に加工され、縁部分はより厚みを帯びた形状に加工されている。縦45.5cm・横42.4cm。)と、テーブルの真下にテーブルを支える曲線の板1枚が配置され、曲線の板はネジをもって、側面板の後方縁部分の窪みに、地面と斜めに固定されている。【写真⑩－2 参照】 ● テーブルは、曲線板の上に配置され、ビスをもって固定される。
項目⑦	<p>(原告製品はベビーガードが別売であり、存在しない)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 着脱可能な保護用のベビーガードとして、大きく歪曲した曲線の板1枚が側面板の後方にビスで、地面に平行に取り付けられている。【写真⑪－2, ⑫－2 参照】 ● 大きく歪曲した曲線板には、中央部に黒色の布製ベルトが存在し、その上部はガードに固定され、下部分は座板に開けられた穴(直径5.5cm)に通し、さらに下部の金属の棒に終端に設けられた輪を通すことにより固定される。【写真⑬－2 参照】

形態 2

	原告製品	被告製品
項目⑦	<ul style="list-style-type: none"> ● 着脱可能な保護用のベビーガードとして、小さく歪曲した曲線の板 1 枚が L 字板に挟みこまれて、ビスなしで、地面に平行に取り付けられている。【写真⑪－1 参照】 ● 小さく歪曲した曲線板には中央部にベージュの革製ストラップが存在し、その上部はベビーガードにより固定され、下部は終端に設けられた厚みを持たせる形状に加工した部分を座板に開けられた穴（直径 3.5 cm）に通すことにより固定される。【写真⑫－1 参照】 ● 2 枚の背板の間に、薄いベージュ色の曲線状プラスチック製補強背板（縦 22.7 cm・横 25.3cm）が配置される。【写真⑬－1 参照】 	なし ¹

¹ 原告製品はベビーガードが別売であるのに対し、被告製品はベビーガードも含めて一体として販売していることに基づく。

原告製品形態及び被告製品形態の詳細比較写真

【原告製品】

写真①- 1



【被告製品】

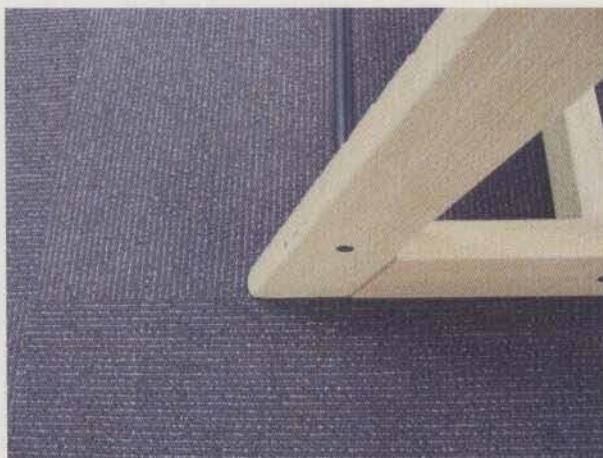
写真①- 2



L字板は側面板と脚板とで構成されており、側面板と脚板は同一平面上に1枚の板として直接接続されている。

側面板と脚板は1枚の板として直接接続されていない。折り畳み可能とするため、側板と脚板とは立体状に（側面板と脚板は同一平面上にない）ジョイント工具をもって接続されている。

写真②- 1



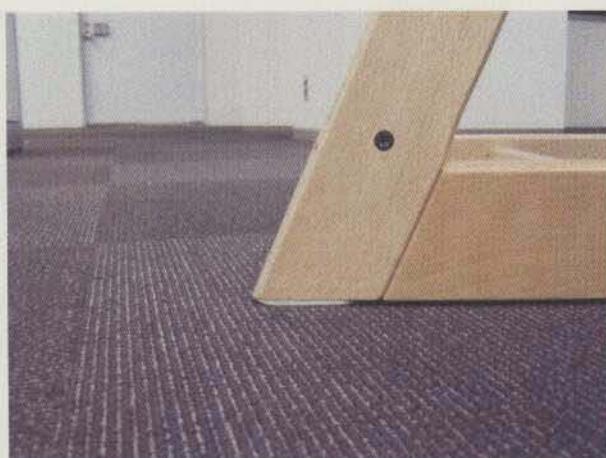
側面板は平らである。

写真②- 2



側面板には立体状に突出した箇所がある。

写真③- 1



側面からの外観上側面板と脚板の接続箇所は前方先端であり、脚板の前方先端は鋭角となっている。

写真③- 2



側面から外観上、側面板と脚板の接続箇所は前方先端部より 9.5cm 後方部にあり、脚板の前方先端部は丸みをもった形状となっている。

写真④- 1



写真④- 2



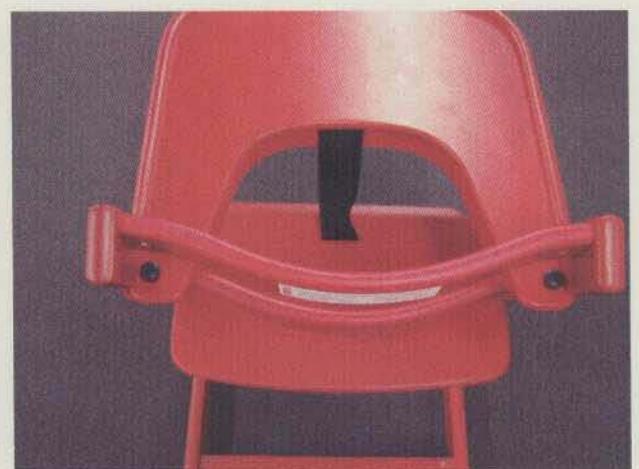
(側面板にはロゴがなく、横木の後方側面
に存在する。)

左側に配置される側面板には「Aprica」の
ロゴが存在する。

写真⑤- 1

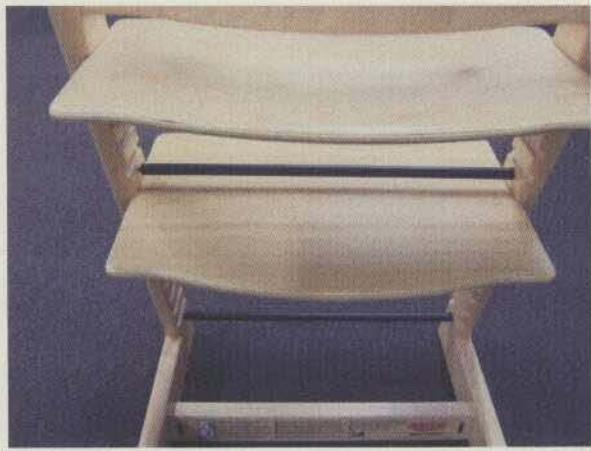


写真⑤- 2



座板後方部分は波状に加工されている。

座板後方部分は丸みをおびた形状に加工さ
れている。



写真⑥－1



写真⑥－2

足のせ板後方部分は波状に加工されている。

写真⑦－1



背板2枚の間には3.4cmの距離がある。

背板2枚の裏面左右端にある、ネジ止め用
金属の形状は長方形状である。

足のせ板後方部分は丸みを帯びた形状に
加工されている。

写真⑦－2



背板2枚の間には9.1cmの距離がある。

背板2枚の裏面左右端にある、ネジ止め用
金属の形状は円形状である。

写真⑧－1



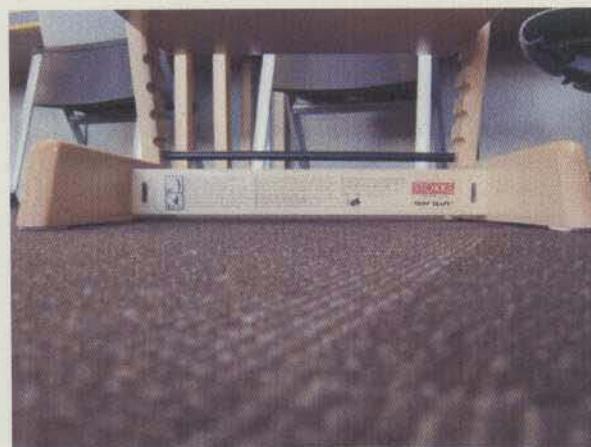
写真⑧－2



横木は、脚板の中央部分に接続している。

横木は、脚板の後方部分に接続している。

写真⑨－1



横木の後方側面には、赤字で「STOKKE」と記載された上、黒字で注意書きが記載されたシールが貼付されている。

写真⑨－2



(横木にはロゴがなく、側面板に存在する。) また、横木は、地面に対し水平に配置されている。

写真⑩－1



テーブルは存在しない。

写真⑩－2



テーブル（前方部分は丸みを帯びた形状に加工され、縁部分はより厚みを帯びた形状に加工されている。）

写真⑪－1



ベビーガードは、ビスなしで取り付けられている。

写真⑪－2



ベビーガードは、側面板の後方にビスで、取り付けられている。

写真⑫－1



2枚の背板の間に、薄いベージュ色の曲
線状プラスチック製補強板が配置さ
れる。

写真⑫－2



プラスチック製補強板は配置されない。

写真⑬－1



ベビーガードの曲線板は小さく歪曲して
いる。

写真⑬－2



ベビーガードの曲線板は大きく歪曲して
いる。

各製品の全体の形態

1 原告製品



2 被告製品



原告製品の雑誌等への掲載状況

発行年月	雑誌の名称	記事の内容	証拠番号 (甲)
昭和61年6月	LightUp The Quality Catalog	原告製品が通信販売の商品として掲載されている。	18
平成元年4月	月刊インテリアン	原告ストッケ社のいすとして原告製品を紹介する記事	20
平成2年5月	ニューファニチャー	原告製品の宣伝広告記事	21
平成4年5月	ベビーエイジ	原告製品を紹介する宣伝広告記事	23
平成5年4月	WOOD ONE	Aを紹介する記事の中で原告製品のことが触れられている。	8
平成7年	マフィン	原告製品の宣伝広告	25
平成8年8月	ベビーエイジ	原告製品の宣伝広告	26
平成9年12月	デザインニュース	Aを紹介する記事の中で原告製品のことが触れられている。	6
平成10年	コスガベビーメイト	原告製品が他の子供用のいすとともに掲載されている。	27
平成13年7月	ベビーエイジ	原告製品を紹介する宣伝広告記事	29
平成14年2月	ペン	Aを紹介する記事の中で原告製品のことが触れられている。	9
平成14年11月	家庭画報	原告製品を紹介する記事	30
平成15年8月	いすの研究	Aを紹介する記事の中で原告製品が紹介されている。	5
平成15年11月	CONFORT	Aと原告ストッケ社を紹介する記事の中で原告製品が紹介されている。	3
平成16年5月	ベビモ	原告製品を紹介する宣伝広告記事	32
平成16年10月	家庭画報	原告製品を紹介する記事	33
平成16年10月	エクセレント・ノルウェー・イコール	Aを紹介する記事の中で原告製品が紹介されている。	7
平成16年11月	リビングデザイン	他のいすとともに原告製品が紹介されている。	34
平成17年1月	おはよう赤ちゃん	原告ストッケ社の宣伝広告。原告製品の小さな写真も掲載されている。	35
平成17年4月	ベビモ	原告ストッケ社の宣伝広告。原告製品の写真も掲載されている。	36

平成17年5月	ベビモ	原告ストッケ社の宣伝広告。原告製品の写真も掲載されている。	37
平成17年6月	おはよう赤ちゃん	原告製品を紹介する宣伝広告記事	38
平成17年8月	ベビモ	原告製品を紹介する宣伝広告記事	39
平成17年9月	おはよう赤ちゃん	原告ストッケ社の宣伝広告。原告製品の写真も掲載されている。	40
平成17年11月	おはよう赤ちゃん	原告製品を紹介する宣伝広告記事	41